

野球を通じて交流深める

名護友好都市少年野球交流に選手参加

2月11日から13日まで、沖縄県名護市で「日本・韓国・台湾 少年野球交流とサンゴを守るエコ・プロジェクト」が開催されました。

大会には、韓国や台湾などから合わせて11チームが参加。市内スポーツ少年団の選抜チーム「八幡平ファイターズ」は、大阪府枚方市や名護市のチームと対戦し、1勝1敗でリーグ2位となりました。

試合後、選手たちは子どもサンゴサミットに参加し、ビーチ清掃活動などを通じて環境問題を学びました。



本市チーム主将の畠山優太選手（平館小6年、写真右）が選手宣誓



あけび工芸の工房寿限無（松尾寄木）=写真=など各種体験も紹介

個々の魅力連携して発信

八幡平市ならではの教育旅行を考える会

3月1日、新安比温泉静流閣で、「八幡平市ならではの」教育旅行を考える会が開催されました。

これは、教育旅行が観光地見学から農山漁村での体験学習に移行してきたため、市の魅力を誘客につなげようと開催したもので、約70人が参加しました。

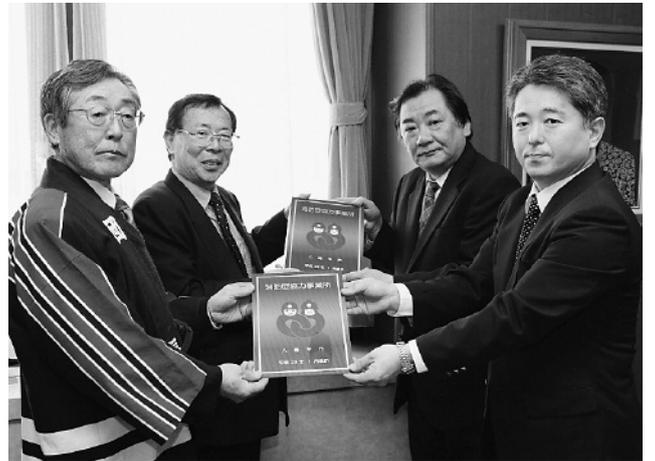
冒頭、旧山形村や陸前高田市のような農山漁村の利用が大きく伸びている県内状況が報告されたほか、講演では、主力である北海道の中学校修学旅行における動向や学校現場の要望などを教わりました。

日頃の協力に感謝を込め

消防団協力事業所表示証交付式を開催

2月18日、市役所応接室で、消防団協力事業所表示証交付式が行われました。

この表示証は、地域の消防団活動に積極的に協力している事業所に交付されるもので、従業員が2人以上入団している事業所を対象に本年度からスタート。初めての交付となったこの日は、株式会社吉田組（松尾寄木）の吉田知義代表取締役社長と株式会社北館製麺（呷田）の赤星克哉総務部長に、田村市長と市消防団の高橋守男団長から交付証が贈られました。



写真左から、高橋団長、田村市長、吉田社長、赤星総務部長



「約90人の参加者は、宮桂子さん（青森県横浜町）の講演などに耳を傾けました」（2月27日、男女共同参画フォーラム）



「NHK番組でおなじみのてっぴん体操などを通じ、健康維持の大切さを再確認」（2月20日、八幡平市健康づくり推進大会）



「紫根染めのハンカチをコースージュとして胸に飾り、学びやを後にしました」（3月1日、平館高校卒業式）

すなっぷギャラリー